緑地における利活用と保全の好循環の創出に向けた取組の推進に係る
パブリックコメントの実施結果について

１　概要

川崎市では、緑の基本計画に基づき、緑の保全を進めるとともに、維持管理については、市民ボランティアとの協働により進めてきました。しかしながら、協働の取組については、会員の高齢化や後継者の育成等といった課題に直面しており、幅広い世代に関心をもってもらい、新たな担い手の確保につなげることが必要になっています。

このような中、王禅寺四ツ田緑地等における利活用と保全の好循環の創出に向けた取組とその成果を踏まえ、令和 6 年度から指定管理者が王禅寺四ツ田緑地の管理運営とその他緑地等における活動団体の中間支援等を担うことを予定しています。本取組の推進(王禅寺四ツ田緑地の管理運営に指定管理者制度を導入)にあたっては、都市公園条例の一部改正が必要になるため、市民の皆様の御意見を募集いたしましたので、御意見の内容とそれに対する市の考え方を次のとおり公表いたします。

２　意見募集の概要

題　名	緑地における利活用と保全の好循環の創出に向けた取組の推進
意見の募集期間	令和５年３月２２（水）～令和５年４月２０日（木）
意見の提出方法	郵送、持参、ファックス、電子メール
意見の周知方法	各区役所市政コーナー、情報プラザ（川崎市役所第３庁舎２階）、市民文化局コミュニティ推進部協働・連携推進課、建設緑政局緑政部みどりの事業調整課、川崎市ホームページ、各区市民館、図書館
結果の公表方法	各区役所市政コーナー、情報プラザ（川崎市役所第３庁舎２階）、市民文化局コミュニティ推進部協働・連携推進課、建設緑政局緑政部みどりの事業調整課、川崎市ホームページ、各区市民館、図書館

３　結果の概要

意見提出数（意見件数）		７通（１１件）
内訳	郵送	０通（　０件）
	持参	０通（　０件）
	ファックス	１通（　１件）
	電子メール	６通（１０件）

４　御意見の内容と対応

パブリックコメントを実施した結果、緑地における利活用と保全の好循環の創出に向けた取組の推進を求める意見や地域に根差した緑地になることを求める意見、さらに本取組を推進するためには、市民にもっと周知することが必要であるといった意見をいただいたことから、王禅寺四ツ田緑地の役割として市民に本取組を周知することを役割とした上で、都市公園条例の一部改正の手続きを進めてまいります。

●御意見の件数と対応区分

項　　目	A	B	C	D	E	件数
1　背景・課題	0	0	0	0	0	0
2　王禅寺四ツ田緑地の概要と取組の成果について	0	2	0	0	0	2
3　取組の拡大	0	0	0	0	0	0
4　今後の推進に向けたポイント（これまでの取組を踏まえて）	1	0	0	0	0	1
5　今後の方向性	0	1	5	0	0	6
6　取組の推進に向けた持続的な運営体制の構築	0	2	0	0	0	2
7　指定管理者制度の導入に向けて（都市公園条例の一部改正）	0	0	0	0	0	0
8　スケジュール	0	0	0	0	0	0
合　　計	1	5	5	0	0	11

【御意見に対する市の考え方の区分説明】

A　御意見を踏まえ、反映したもの
B　御意見の趣旨が案に沿ったものであり、御意見を踏まえ取組を推進するもの
C　今後の施策・事業を進めていく中で、参考とするもの
D　案に対する質問・要望の御意見であり、案の内容を説明するもの
E　その他

５　具体的な御意見の内容と市の考え方

２　王禅寺四ツ田緑地の概要と取組の成果について

	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	区分
1	薪割りだったり火起こしだったり、日常あまり馴染みがないことを大人も子供も楽しめるイベント（森を探検しながら進むゲームや木材を自由に組立てる工作、本物の石焼き芋）に参加し、子どもたちが自然に触れる環境を作っていくのはとても大切。（同趣旨他１件）	王禅寺四ツ田緑地において利活用として自然体験イベントの実施や野外活動団体の利用に供したところ、子どもたちの興味や関心を集め、緑の価値を再認識するとともに、利用者の半数が保全活動にも参加するなど保全活動への誘いへ繋がることも明らかになってきたことから、本取組を推進するため、自然体験学習の機会を広げてまいります。	B

4 今後の推進に向けたポイント（これまでの取組を踏まえて）

	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	区分
2	子どもたちが遠慮せずに遊べる緑の環境を未来につなげていける取り組みを、もっと周知することが必要。	王禅寺四ツ田緑地を公園緑地の自然体験学習の拠点とするとともに、その他緑地の支援や緑地のない地域での体験会の実施を行うことで、自然体験学習の機会を広げるためにも、この取組を周知することも重要であるため、市民への情報発信を行うことも今後の推進に向けたポイントとしてまいります。	A

5　今後の方向性

	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	区分
3	地域の皆さんの声も集めながら、地域に根差した緑地になることを期待。	王禅寺四ツ田緑地については、地域のボランティアによる里山管理活動を引き続き行うともに、その他緑地についても、保全活動団体と利活用を行う地域のボランティアが連携し、地域の子どもたちに身近な緑地に関心をもってもらい、環境意識や愛着の形成につなげるとともに、保全活動の担い手確保のきっかけづくりを行ってまいります。	B
4	区内の小学校と一緒に課外授業などを進めると良い。	王禅寺四ツ田緑地が担う自然体験学習を通じた役割における取組に向けた意見として参考にさせていただきます。	C
5	子供達が、たのしく生活できる環境を、期待。		C
6	子供のみならず、老若男女を問わずに緑地に関心を持てるよう、大人のみでも参加したいと思えるような体験等のメニューも増やして、市全体の緑化の保全に繋がるような取組を期待。		C
7	イベントなどを実施する際は、ターゲットを絞ったイベント(子育て層向け、小学生向け、中高生向け、社会人向け、シルバー向け)と、異なる利用者層が交流できるようなイベント(子供とシルバー向けとか、ダンスや歌など地域のサークルと中高生の部活動のお披露目の場など)がバランス良く開催されると良い。		C

8	王禅寺四ツ田緑地は閉鎖的な空間に思えるので(入り口が１つ、周囲からは入りにくいし見えにくい)、空間の特性を生かした活動も良い。 ドックランの日(予約してお金を払えば走る犬をプロカメラマンにとってもらえるなど)とか騒音が気になる活動や広場でドローンの練習会としての利用。	王禅寺四ツ田緑地が担う自然体験学習を通じた役割における取組に向けた意見として参考にさせていただきます。	C

6　取組の推進に向けた持続的な運営体制の構築について

	意見内容（要旨）	意見に対する市の考え方	区分
9	緑を大切に保全することは重要だと思う。一方で、単に保全するだけでなく、一つの財産として有効に活用していくことが必要だと考えます。活用されることが持続的な形になれば、とても良い。	緑地の保全に加え、利活用も含めて王禅寺四ツ田緑地を拠点に取組むことで、市域へも好循環がつながるよう、持続的・効果的・効率的に管理運営するために、指定管理者制度を導入します。	B
10	公園や緑地を有効活用するために外部団体に業務委託することは良い。		B